［発行者］社会福祉法人 伊勢亀鈴会　2020年10月1日発行

きれい

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会　ウェブ検索

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL 134

巻頭インタビュー

日々の練習の積み重ねが自信に繋がる

元プロサッカー選手
FC ISE-SHIMA　理事長
小倉 隆史

撮影者　きれいサポートステーション　末村通信員

浦村牡蠣

冬の時期のおすすめ名物といったら牡蠣！テレビなどでも紹介され有名になってきた鳥羽市浦村地区。好みは分かれますが、食べると、海そのものを食べている気持ちになります。ぜひ、一度ご賞味あれ。

目次

■巻頭インタビュー ―― 1
日々の練習の積み重ねが自信に繋がる
元プロサッカー選手・FC ISE-SHIMA理事長
小倉　隆史

■なかま ―― 4
新しく仲間が増えました
～宮の里ミタスメモリアルホーム～

■道のり ―― 5
潮音　待望の6床に願いをこめて!

■ハートフルリレー ―― 6
利用者さんに寄り添う看護をめざして
八野生活介護センター　看護師長
水流　千晶

■春夏秋冬 ―― 7
行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ―― 15
地元食材の鯛めしに舌鼓

■職員の休日 ―― 16
趣味満喫！?
南勢就労支援センター
お弁当屋潮音　岩本 正道

■きれいの動き ―― 表3
新職員・人事異動他

表紙写真

京都　東福寺の紅葉

大雨の梅雨、その後の酷暑と天災に見舞われましたが、ようやく秋の気配が感じられるようになりましたね。コロナ渦でまだまだ注意が必要ですが、近場の観光が出来るといいですね。表紙は、紅葉で名高い京都の東福寺です。少しでも、秋を感じていただければ幸いです。

日々の練習の積み重ねが自信に繋がる

元プロサッカー選手
FC ISE-SHIMA 理事長
小倉　隆史

※以下本文では「FC ISE-SHIMA」の表記を「FC伊勢志摩」とさせていただきます。

経　歴

元プロサッカー選手。
鈴鹿市鼓ヶ浦中学校　卒業。
四日市中央工業高校時代に、全国高等学校サッカー選手権にて全国制覇。
Jリーグ黎明期から、名古屋グランパスエイトの中心選手として活躍。
サッカー日本代表にも選ばれた経歴がある。
“レフティーモンスター”と呼ばれ、オランダリーグでも活躍した。
現役引退後、キャスターなどでテレビにも多数出演。
また子どもサッカーチーム指導も積極的に貢献されている。
S級ライセンス取得後、名古屋グランパスエイトの監督も経験有り。
現在、FC伊勢志摩の理事長として、FC伊勢志摩のJリーグ入りを目指している。

今回の巻頭インタビューは、元プロサッカー選手で現在FC伊勢志摩の理事長の小倉隆史さんです。インタビュアーはきれいサポートステーション末村が担当します。よろしくお願いします。

Q1. なぜ、サッカーを始めましたか？

小倉…小学校1年生の時に、父親の勧めで地元のサッカー少年団で始めました。小学校の卒業文集には、「プロサッカー選手になりたい」と書いていました。

Q2. どんな高校生活でしたか？

小倉…実家から電車で通っていたので、通学に1時間程かかっていました。

朝練もあったので、1年生の時には始発で行って夜遅くに帰ってくるというサッカー漬けの毎日でした。

高校3年生の夏休みでは1日だけオフの日があったのですが、疲れすぎて14時間も寝ていました。

1年生の時からレギュラーで試合に出してもらい、3年間とも全国大会に出場させてもらいました。

3年生の時のチームはとても強かったと思います。県内では敵なしで、大学生や社会人と試合しても勝つこともありました。その時のレギュラーで、後にプロサッカー選手になったのが6名もいましたからね。

全国大会に行くと色々な選手もチームもいてレベルが高かったですね。

その中で、最後の全国高校サッカー選手権大会で優勝できて、非常に嬉しかったです。

Q3.大きな舞台に立たれて、プレッシャーはありませんでしたか？

小倉：プレッシャーはあまり感じたことがないですね。

左足には絶対的な自信を持っていたので、自分を信じることが出来ていましたし、大舞台も好きでした。プレッシャーも含めて何事も楽しむことが大事で、「日々の練習の積み重ねが自信に繋がる」と今も信じています。

潮音に訪問していただき、交流をしました

Q4.練習の時に気をつけていたことは？

小倉：ミスをした時は、自分が一番よく分かっているので、その原因を分析し、次に同じミスを繰り返さないように改善していくことが大切です。

失敗を恐れてプレッシャーを感じないようにするのは違うと思います。プレッシャーがあるのは当たり前なので、それを普通のことと捉えて、「楽しめるメンタル」を持つことが大事です。

プレッシャーを別の物に置き換え、捉え方を根本から変えて自分のエネルギーにすれば良いのではないでしょうか。結果に捉われず、自分を信じて、目の前のプレーに集中して最善を尽くせるといいと思います。

Q5.どんな現役時代でしたか？

小倉：私が高校2年生の時（1990年）にJリーグが発足する事が発表されました（1993年開幕）。

もともと海外に挑戦したかったので、クラブを選ぶにあたって、誘って頂いたクラブには、「どれだけ海外に行かせてもらえるか」を聞きました。その中で唯一、2年でも3年でも行っていいぞと言ってくれたのが、初代監督の平木隆三さんでした。それで、名古屋グランパスエイト（以後、「グランパス」）に入団を決めました。

グランパスに入団して1年後の1993年にオランダに留学させてもらいました。

当時2部のエクセルシオールというチームに所属することができ、1シーズンで19得点の戦績を残しました。

帰国した1994年には日本代表にも召集されました。

グランパス時代で一番心に残っているのは、1995年の天皇杯優勝ですね。

その時は、フランス人のベンゲル監督が来て、チームがガラッと変わりました。それまで下位争いをしていたチームが、結果もついてきましたし、自分達もやっていて楽しかったです。

練習風景

しかし、アトランタ五輪最終予選直前の代表合宿での紅白戦で、ヘディングの競り合いの際、着地した時に膝が反対側に曲がってしまうという交通事故並みの大怪我をしてしまいました。しかも、一度目の手術がうまくいかず、二度の手術を受けたものの、元のパフォーマンスに戻ることはなかったです。

ただ、どんな困難な状況でも、それを乗り越えるしかないんですよね。

22歳から25歳までの3年間は怪我との戦いで、リハビリばかりでした。復帰してからも思うようなプレーができず、満足できる選手生活とは言えませんでしたが、前向き

に怪我と向き合い乗り越え、精いっぱいやった14年間の現役生活でした。

Q6.引退後、指導者になってからは、何を大切にされていますか？

小倉：指導者としては「人間力」が大切だと考えています。

グランパス監督時代の失敗も含め、積み重ねてきた経験を糧として「人間力」を発揮できればと取り組んでいます。

「人間力」高く、何の後ろめたさもなく、自分らしく生きることが大切だと思います。

Q7.今の夢や目標を教えて下さい

小倉：今、三重県にはプロのサッカークラブはありません。

FC伊勢志摩は、「Jリーグ入り」を目指していて、それを実現する事が今の大きな目標です。

ただし、Jリーグに上がる為にはスタジアムや練習場と課題は多く、まだまだ一筋縄ではいきません。

その過程において一番大きな問題は、FC伊勢志摩を皆さんが知らないことです。

現在、チームが立ち上がって8年が経ち、ようやくJ1から数えると5部相当の位置（東海社会人サッカーリーグ1部）まで来たので、認知もだいぶ広がっていると思いますが、もっともっと多くの方に知ってもらいたいという想いです。

コロナの影響で、4月に開幕予定だったリーグ戦がトーナメント方式に変わり、9月19日開幕となりました。そこで優勝し、11月に行われる大会（全国地域サッカーチャンピオンズリーグ）で2位以内に入ることができればJFL（日本フットボールリーグ）に昇格することができるので、そこに何とか行けるよう練習を積み重ねています。どんなチームで、どんなサッカーをするのか、興味を持ってもらえると嬉しいです。

鈴木英敬三重県知事と小倉理事長

●障がいを持つ人に…

小倉：今、コロナ禍で大変な難しい状況ですが、そんな時こそポジティブに笑っていられるのは素晴らしいことだと思います。人生楽しんだもの勝ちですから。

たくさん笑えるように是非、FC伊勢志摩のサッカーも観に来てください。応援宜しくお願いします。

ありがとうございました。

なかま

新しく仲間が増えました

今月号のなかまは、3人になった宮の里ミタスメモリアルホームの、理学療法士の職員（守山・堀越・阿部）に話を聞きました。

Q1：8月より3名に増えました。チームワークはどうですか？

A1：長い間、STと2人で進めてきた環境づくりが2名の力が加わった事で少しづつ形になって来ています。新しい取り組みも始まり、2人にはいろいろと活躍してもらっており、ST、助手共に、協力し合って日々過ごしています。

Q2：障がいを抱えている利用者さんのリハビリをするにあたり、特に気を配っている事はありますか？

A2：利用者さんの精神面を観察しながら、またリハビリが嫌なものではなく、楽しいと思えるものであるよう、心がけています。

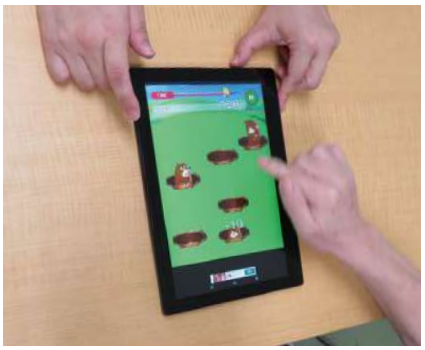
Q3：リハビリに参加されている利用者さんたちは、毎日やる気満々で取り組まれているようですね。参加されている利用者さん達の様子を教えて下さい。

A3：意欲的に、また熱心に取り組まれており、職員との会話も楽しみながら参加されています。

Q4：利用者さん達に期待している事、リハビリをおこなうにあたり目指している事はなんですか？

A4：自分のやりたいことに挑戦して欲しいと思っています。その目標を達成するための、お手伝いが出来る環境を作りたいと思っています。

文字ならべ


もぐらに追いつけ!

どこまで行けるか歩行練習!

足を上げていちにいちに!

潮音　待望の6床に願いを込めて！

「アサガオ」「サクラ」

夫婦岩で名高い二見の地に、沢山の方々にご支援をいただき「二見生活介護支援センター潮音」が誕生した。

しっかりと研修を重ねた職員達が、勢ぞろいで利用者さんをお迎えした日から3年の時が流れた。

心温かい利用者さんやご家族様に恵まれ、忙しいながらも有意義で楽しい日々を迎えられたことに、心から感謝申しあげたい。

そして8月より、地域の皆さまのご要望にお応えし、短期入所4床から6床に増床することができた。ワンルームに仕切りのカーテンを付け、プライバシーも守れる工夫が施されている。ルーム名は「アサガオ」と「サクラ」。「アサガオ」の壁紙は花にちなんだ紫色。落ち着いた雰囲気に仕上がっている。早速、お友達同士・ご姉妹などからのお問い合わせをいただいた。ご家族様からは、「寂しくないかなどの心配がなくなり嬉しい」「本人もお友達と一緒に泊まりたいと楽しみにしている」との声もあり、ご期待に添えるよう更に気を引き締めている日々である。沢山の方々にご利用いただけることを切に願い、職員一同スキルアップに励んでいる。

ハートフルリレー
heartful relay

利用者さんに寄り添う看護をめざして

八野生活介護センター　看護師長　水流（つる）　千晶（ちあき）

利用者さんの健康指導

八野生活介護センターには、42名の方が生活されています。利用者さんそれぞれ健康状態・疾患も全て違い、個々に合った看護を提供しています。八野生活介護センターで健康に過ごして頂くために、私達看護師は大切な役割を担っています。

健康管理と言いましても、身体の看護は勿論の事、精神看護が一番重要であると私は思っています。例えば糖尿病の利用者さんのおやつ摂取についてのアドバイスを行う際にでも、真剣に利用者さんの意見、訴えに耳を傾ける事で利用者さんもこちらのアドバイスに耳を傾けて頂けました。結果、利用者さんの健康状態の向上に繋がった事例があります。精神看護の基本である傾聴は、言葉の通り心を傾けて話を聴く事ですが、その傾聴こそが一番重要で、利用者さんの心の扉を開く鍵となります。そのような心の鍵を一つでも多く開いて頂ける様、精神看護にも力を注ぎたいと思います。

精神看護の重要性を、ここ八野生活介護センターで勤務させて頂き改めて痛感致しました。

小さな困り事から大きな困り事まで、利用者さんがいつでも、気軽に話し相談して頂ける医務室を目指す事が、利用者さんに寄り添う看護に結び付くと私は考えております。これからも日々利用者さんが笑顔で楽しく過ごして頂けるような看護を提供させて頂きたいと思います。

日々の業務風景

利用者さんへの傾聴

八野生活介護センター

みんなで脳トレ・クイズ大会

7月12日(日)、脳トレ・クイズ大会を行った。問題は職員が考えたが難しい問題が多かった。午前中は雑学の問題で、みなさん真剣に取り組んでいた。キリンの睡眠時間や鈴鹿市の人口等の問題を札で正解を当ててもらったが、頭をひねることがあった。

午後からは施設と職員に関するクイズで、運動も兼ねて床に○×を貼って移動して答えを当ててもらった。職員の趣味や食べ物の好き嫌いなど個人的な情報の問題に、驚きや笑いが混じりながら進み、成績上位は表彰をされ喜んでみえた。普段活動に参加しない方もノリノリだった。

答えは何

ちょっと考えてます

賞品 GET

夕涼み会

8月30日(日)、入所利用の方へ向け、イベント満載の夕涼み会が開催された。ハッピを身に着け、お祭りに向け準備は万端！まずはゲーム大会から。ヨーヨー釣りに水鉄砲での的あて、そして輪投げと盛りだくさん。ヨーヨーの輪っかにフックをかけるもどかしさ、水鉄砲のしぶきの冷たさ。利用者さんの表情から懐かしさ、楽しさが溢れていた。

その後はお待ちかねのスイカ割り！「もうちょっと左！」「右！右！」と、元気な声が響いていた。その後もビンゴ大会、食事会と、書ききれないほどのイベントがあった。最後は花火。見つめていると、お祭りが終わるんだなあ、という楽しくも寂しい気持ちに。職員利用者さんみんなで日本の夏を満喫でき、とても充実した一日になった。

ヨーヨー釣り

外で食事会

夏の締めくくりは花火

スイカ割り

水鉄砲で的あて

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

URAURA八野のあつ～い夏!!

8月のイベントに向けて、7月はあらゆる製作活動に取り組んだ。〝切る・貼る・塗る〟などして、物作りの楽しさを学び、完成した時の喜びやイベントへのワクワクを感じた。

8月は実際に自分たちで作ったカエル飛ばし、ぶんぶんごま、お面でイベントを行なった。「この前作ったやつだ!」と嬉しそうに活動に取り組む姿が見られた。夏の暑さよりもあつ～い児童達の、たくさんの笑顔が見られたURAURA八野の夏であった。

お面をつけてハイ、ポーズ♪

えいっ!!
カエルちゃん飛ばし☆

どれがいいかなぁ～？

上手くのり付けできるかな？

絵具を使って池作り！

ぶんぶんごま　ぴよ～ん

放課後等デイサービスURAURA稲生

保護者会を行いました

朝夕は少しだけ涼しい風が吹くようになった。秋がそこまできているように感じる。

8月の土曜日、3週にわたり保護者会を行った。

登所してからの普段の流れと、お菓子作り（クッキー）をしている姿を見て頂いた。日頃からクッキングをする機会もあり、子どもたちは楽しみながら型抜きをして作っていた。

3時のおやつに焼きあがったクッキーを親子で一緒に試食をした。自分たちが作ったクッキーは、格別だったかと思う。

そして昼食では、就労でのおにぎり弁当を親子で一緒に食べた。普段食べているお弁当はどんな感じなのかを知ってもらえたかと思う。

懇談会では、臨床心理士と看護師が参加し、保護者の方が知りたいと思っていたことや、相談したいと思っていた情報等が得られた。保護者の方同士で共有する場になったと思う。

保護者の皆さまありがとうございました。

星形にしよう！

よ～く伸ばして作るよ

グラムを計ってから入れるよ

小麦粉を入れるね

僕が作ったクッキーはどう?

お母さん、美味しいね

きれいに焼けました！

いっぱい型抜きできたよ

八野就労支援センター

青空学園

毎月恒例となった青空学園では、学校で学ぶような5教科を中心に教養を授業形式で行っている。

8月15日㈯は道徳の授業にて、マナー学習を行った後、ペットボトル水鉄砲を作成。「むずかしい～」と苦戦しながらも完成。水を入れていざ発射！大盛り上がりで夏を感じることができた1日となった。

水鉄砲つくり

ペットボトルで作ります

よく狙って…

みんなで発射！

クラブ活動

4月より毎月土曜日にクラブ活動がはじまった。ボッチャクラブ、買い物クラブ、映画クラブと3つのクラブがある。毎月 各クラブごとで、様々な活動を実施している。

8月22日㈯は、3クラブ合同のサマーフェスティバルを開催。「ボッチャストライク」と名付けたボッチャのボールを使った的当て、花火大会や祭りの動画鑑賞、買い物チケットを利用した「はちのえんにち」など 他クラブとの交流と、クラブの活動要素を取り入れた祭りとなり、普段見る事のできない元気な笑顔が見ることができた。

これください～

ボッチャストライクに挑戦

おかし釣り

はちのえんにち

きれいサポートステーション

サポート塾　特別版!!

恒例になっているサポート塾だが、今回は場所も内容も変えて、〝袋ラーメンを作ってみよう〟〝挨拶の大切さを考える〟〝基礎学力検定〟の三つの特別プログラムを行った。

自活能力向上〝袋ラーメンを作ってみよう〟は3人一組に分かれて、ラーメン作りに挑戦した。エプロン姿が新鮮な人も多く、ガスコンロをセットし、お水を入れ、お湯を沸かしてからラーメンを投入。麺が柔らかくなったらスープの素を入れて混ぜる。それぞれの容器に分配し、トッピングを少しのせ、完了。容器に分配するのが難しい人が多く、麺が容器からこぼれることもあった。箸使いは今後の課題かも…。その後は皆で片付けて、片付けまでが料理ですよと伝えた。

接遇マナー向上を目指して、日頃している挨拶の大切さを学ぶ機会を設けた。『なぜ挨拶が大切なのか?』をテーマに考える時間を作り、一人ずつ発表してもらった。『人との繋がりのきっかけを持てる』『信用・信頼を勝ち取る』『自分も相手も幸せにする魔法の言葉』など、たくさんの意見があった。日頃の挨拶をさらに心を込めて伝えるようにしましょうと伝えた。

基礎学力検定では、漢字・平仮名書き取り検定、足し算から割り算、文章問題の算数検定。各利用者さんそれぞれ、今できることに焦点をあてて学習をしてもらった。改めて利用者さんの得意分野などが分かる場面も多く、未来への可能性を垣間見た時間となった。

上手く出来たかな?

熱血指導!!

「よろしくおねがいします」

平和について考えよう

今年は、終戦から75年が経つ節目の年という事もあり、悲しい戦争を描いた「火垂るの墓」を鑑賞して、今、何とか続いている平和な世の中を考えよう…という企画を開いた。

利用者さんからは「日本が戦争に負けてしまった。生きるために畑ドロボーになるしかないことが悲しかった。父さん、母さん、せつこも皆死んでしまった。悲しいお話。」とか、「戦争で両親が亡くなり、引き取られた親戚でも邪険に扱われ、家を出るしかなくなった。洞穴での二人暮らしでは栄養失調になり、亡くなっていった。戦争は本当に惨くて大変なこと。最後の駅のホームで横たわっているのを見て、今の時代に生まれてきて幸せだと思った。

救いようの無い悲しい時代があったのだと思った。」という感想が聞かれた。

涙無しでは観られない映画ですが、観た事の無い方は、一度ご鑑賞ください。

火垂るの墓

映画鑑賞

感想を発表してもらいました

平和について考える会

南勢就労支援センター

南勢夏祭り

コロナ禍で行事・外出自粛が続く中、南勢では「夏を感じてもらいたい！」との思いから、感染予防対策を万全に「夏祭り」を開催。

「浴衣をお持ちで当日着たい人は持ってきてくださいね」の声掛けに、たくさん利用者さんが浴衣で参加下さった。手作り提灯の飾り付けや鳥居の設置に屋台の準備。最後に浴衣の着付けが終わると、いよいよ「南勢夏祭り」がスタート！

浴衣をお持ちでなかった方も職員が着ているハッピを見て「私たちも着たい！」とお祭を盛り上げてくれた。スーパーボールすくい『ひよこを狙えっ！』ストラックアウト『投球王』といったゲームコーナーを楽しむ利用者さん達。すると、いい匂いが食堂から・・・

匂いの正体は「フランクフルト」!!事前に配った「夏祭り交換チケット」を使ってフランクフルトと交換。お楽しみブースでは買い物気分も味わいながら、暑い夏を感じて頂いた。普段、レクリエーションへの参加が少ない方も朝からソワソワ。最後まで楽しまれている様子に、職員にも自然と笑顔が溢れた。

外出自粛はまだまだ続くが、ステイ南勢にも、たくさんの笑顔が溢れている。次はどんなワクワクが待っているのか。乞うご期待！

ボールすくい

ツーショット♪

スターマイン

祭り盛り上げ隊

祭りを満喫♪

第2南勢就労支援センター

「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ」

雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ、丈夫なからだをもち
大変な現場へ嫌がることなく赴き
雨の中小さな狭い場所で昼食をとり
職員と共に一生懸命作業に取り組み
そして忘れものがないように必要な道具を車に詰め込む
草刈りの現場があれば怪我や飛び石に気を付け
不用品回収があれば毛虫、ダニ、埃に注意を払い
植木の剪定あればチェーンソーをこわがらなくてもいいといい
清掃現場があれば役割をしっかり決めようといい
日照りの時は脱水に気を付け寒さの中防寒で作業を行い
みんなで一つの現場に取り組んでいる
そういう利用者さんたちを誇りに思いたい

※文章は宮沢賢治著「雨ニモマケズ」のオマージュにて作成

暑さに耐えて

140gの輝き

そういえばあの色などは瞑想的ではないか。果実のように透明に曇った冷たい肌が、奥の方まで日の光を吸い取って夢みるごときほの明るさをふくんでいる感じ、あの色あいの深さ、複雑さは、ほかのものにも絶対ひけをとらない。透過性の低いものなどはあれに比べると何という浅はかさ、単純さであろう。だがその果実の色あいも、あれを透き通った器に入れて、肌の色が辛うじて見分けられる暗がりへ沈めると、ひとしお瞑想的になる。人はあの冷たく滑かなものを口中にふくむ時、あたかも室内の暗黒が一箇の甘い塊になって舌の先で融けるのを感じ、複雑な工程を踏まえていなくても、味に異様な深みが添わるように思う。

140gの輝きをひとつひとつ人の手で作り上げている。
利用者さん自身の手で丁寧に作りあげられた小さな輝きを消すことなく日々取り組んでいる。お中元は沢山注文頂けたので、お歳暮も頑張って取り組んできたい。

※文章は谷崎潤一郎著「陰影礼賛」のオマージュにて作成

お中元の梱包作業

プラムの魅力を伝えたくて

お歳暮も頑張ります

宮の里ミタスメモリアルホーム

潮音とのリモート交流会

コロナの影響で他施設との交流が出来ないなか、8月28日㈮にZOOMをつかってリモート交流会を行った。

宮の里通所から潮音に行かれた利用者さんや初めてお会いした利用者さんと一緒に自己紹介を行い、ジェスチャーゲームやクイズ大会、なぞなぞを皆さんで楽しんだ。

潮音からはジェスチャーゲームで職員が花火や盆踊りといった事を体で表現し、クイズ大会では皆さん一生懸命考えてくれた。

宮の里からはなぞなぞを出題して宮の里の利用者さんも潮音の利用者さんも元気な声で答えを言って頂き大盛り上がりであった。

みんな久しぶり

入所VS通所　創作活動「貼り絵」対決

創作活動で貼り絵を行った。

今回は入所VS通所と言う事で貼り絵を作成し、南勢就労支援センターの食堂に飾らせて頂いた。

どちらの絵が良かったかを南勢就労支援センターの利用者さんに評価して頂く。

入所の作品は大海原をクジラが気持ち良さそうに泳いでいる絵を作成し、利用者さん皆で折り紙をちぎって頑張って貼って頂いた。

通所の作品は今年コロナの影響で花火大会が全国で中止となったため、花火を題材に花火大会の絵を作成し貼り絵を行った。

手先が器用な利用者さんはハサミで折り紙を細く切って、紙の上に花火が沢山打ちあがった。

大海原を泳ぐクジラ

盛り上がった花火大会 2020

大きいクジラさんを作ろう

花火を打ち上げよう

二見生活介護支援センター潮音

夏の風物詩「夏まつり」

7月18日㈯、恒例の「夏まつり」を開催した。活動自粛の中、利用者さんと職員でゆったりとした雰囲気でスタートした。

中でも、途中で変装して登場した職員2名のサプライズに、皆で大爆笑！笑いの冷めないうちにゲームへと進めていった。

施設の壁紙やスペースの飾りも、この日のために利用者さんと職員で作りあげ当日を迎えたこともあり、ひと際盛りあがりをみせた感があった。

お楽しみのメニューは、「一円玉落とし」「ストラックアウト」「お菓子すくい」他3種。スタンプカードを手に、それぞれのゲームをゆっくり楽しまれた。

沢山のエピソードがある中でひとつ。野球が大好きな利用者さんが「ストラックアウト」に挑戦！スナップをきかせた投げに思わず拍手が起こり、ご本人もその様子に優しい笑みがこぼれた。

どの行事も同様であるが、皆で目標を持って準備に取り掛かり当日を迎える。成功すれば、より達成感を味わうことができる。この職業ならではの醍醐味であるならば、嬉しい限りである。

昼食は、厨房オリジナルの冷やし中華。利用者さんお気に入りのメニューである。喫茶コーナーでは、プリンや焼き菓子などを楽しまれた。

小暑のひととき、想い出づくりの一頁が終わりを告げた。さて、次回はどんな出会いがあるのかを期待したい。

何が当たるかなぁ

ちょっと怖いけど…

ああ　夏祭り！

ヨーヨー釣れたよ

スナップをきかせ　お見事！

楽しかったぁ～

雰囲気抜群

地元食材の鯛めしに舌鼓

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホームにて、いつも厨房でお世話になっている「株式会社トモ」さん。そのトモさんにて「地産地消・オール三重応援キャンペーン」が企画された。新型コロナウイルスの影響で打撃を受けている県内食材そして生産者の方を応援するため、三重県産の養殖マダイを地元生産者より購入。それらをトモさんオリジナルレシピで調理していただき、「鯛めし」として、施設での昼食で振る舞っていただいた。

大きめに切られた鯛の切り身がゴロゴロと入っていて、地元産の鯛のしっかりとした噛みごたえ、旨味を存分に味わうことが出来た。利用者の皆さんも美味しそうに、そして黙々と真剣に、鯛めしを味わっていた。

世間ではなかなか明るいムードにならないが、そんな中で食事の楽しみというのは私達にとってやっぱり大事だということを実感する良い機会になったと思う。トモさん、そして地元生産者の皆さん、ありがとうございました。

生産者の方、トモさん、ありがとう

食べるのが待ちきれない

初めて食べると言う人も

鯛めし

思わずにっこり

豪快にパクリ!

好きなものは最初になくなりますね

黙々と食事を楽しむみなさん

職員の休日

OLIDAY

趣味満喫!?

南勢就労支援センター　お弁当屋潮音　岩本正道

伊勢市二見町にある、お弁当屋潮音でお弁当を作っている岩本です。近頃お弁当も増えてきたので、忙しくなってきました。

今の趣味はキャンプです。キャンプブームが来て何年か経っていますが、私はキャンプ歴30年以上になります。高校生のころから友達と行ったりしていますので、経歴だけは長いですが、この何年かは本格的にいろいろとキャンプギア（道具）を集めています。焚火台も何台か持っており、行く場所により変えたりしています。今はDIYもして椅子やテーブルなども作っています。キャンプギアはキャンプ以外にも災害時や自宅使いも出来て、重宝しています。今はコロナの影響で自粛しているので、もっぱら自宅キャンプです。

美味しい料理と酒を楽しみながら、好きな音楽や動画を見て過ごす時間がとても良いので、これからも続けていきたいと思っています。

仕事柄、家でも料理を作っていますが、休み前日にはパンを手作りしています。今回はロールパンを作り、オムレツとウインナー・はちみつヨーグルトを添え、ひとり寂しく食べました。簡単ですので、ぜひやってみてください。

もう一つの趣味が、暇な時にやっている音ゲーです。コロナ自粛時期の家から出られない時に始め、すっかりはまってしまいました。

今やっているのは、バンドリというアニメ系の音ゲーで楽しいのですが、あまりわかってくれる人はいません。バンドリでは100万人の仲間がいるので、知っている人もいるかもしれません。

知っている方、是非一緒にプレイしましょう!!

バンドリはじめました

ぼっちメシ

お気に入りのギア(道具)達

ソロキャン満喫!?

きれいの動き　新職員紹介

八野生活介護センター

尾崎　未来

きれいサポートステーション

福祉葬祭三重
中村　和司

南勢就労支援センター

谷　百合子

第2南勢就労支援センター

山田　航平

二見生活介護支援センター潮音

中村　真理

運転手
中西　一

宮の里ミタスメモリアルホーム

福島　良平

中西　孝次

竹内　清樹

運転手
野呂　孝則

きれい会事務所

田村　裕佳部長

人事異動

経営企画本部　⇒　鈴鹿社会的事業所　山田　健司
URAURA八野　⇒　きれいサポートステーション　長岡　潤一

シーズンオフの御座白浜海水浴場（三重県志摩市）
撮影者　きれいサポートステーション　末村 通信員

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

伊勢亀鈴会　法人本部　2020年4月～8月

三重ユニフォーム株式会社様（取引業者様）
大泉　源之様（鈴鹿西ロータリークラブ会員様）
堀口　孝子様（宮の里ミタスメモリアルホーム保護者様）
山本　義夫様（宮の里ミタスメモリアルホーム保護者様）

福祉葬祭三重　2020年4月～8月

養泉寺 様
一心寺 様

編集後記

今回編集長を務めさせて頂きました、八野就労支援センターの岸と申します。初めての編集長という事で戸惑う事も多くありましたが、編集委員の方々のおかげで無事発行する事ができました。今回の編集にあたってご協力して頂いた方々、ありがとうございました。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいていますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ
八野生活介護センター　担当：中野　TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム　担当：塩見　TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音　担当：岡島　TEL0596-72-8822

きれい通信 ちょっと寄り道!!

来るたびに楽しめる 寄り道には最適な場所 Café Nanacy（カフェ ナナシィ）

人との出会いを楽しみにしているお店

前菜のトマトはなんと！（答えは本文に！）

八野生活介護センター
陶芸クラブの作品

多くの人がにぎわう店内です

人の集まるお店がある。

老若男女、年齢問わず多くの方が時間を共有し過ごしているお店がある。それがCafé　Nanacy だ。

店長手作りの料理は絶品でとても人気がある。

そのため朝から多くの方が足を運んでいる。

人との出会いを楽しみにしてるといった店長の思いが詰まった料理は来店した人をとても幸せな気持ちにしてくれる。

きれいに盛り付けされた料理は視覚を刺激し、一口食べれば味覚もまた記憶に残る刺激を受けるだろう。

笠原将弘氏のファンである店長が「東海ラジオ笠原正弘の賛否両論！」で紹介されている料理を作っているので笠原氏考案のレシピが食べられるのも楽しみの一つだ。

写真に載っている前菜のトマトも笠原氏考案のレシピ。

Café会や手話教室などをおこなっている一面もある。

東海ラジオのレポーターやパーソナリティの方も来店されている。

また、障がい者福祉にも貢献頂いている。

伊勢亀鈴会八野生活介護センターの陶芸クラブの作品も展示販売して頂いている。

Access

住　　所／〒510-0068　三重県四日市市三栄町5-1
営業時間／6:00～18:00
アクセス／近鉄四日市駅より徒歩15分
　　三滝通りと中央通りの交差点付近

印刷
指定就労継続支援B型事業所
八野就労支援センター印刷係
〒513-0837　鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381　FAX 059-340-8810　e-mail　insatsu@kirei.or.jp

社会福祉法人 きれい 伊勢亀鈴会

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉の森の家　体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたガーデン)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ
(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
TEL0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
お弁当屋　潮音(しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808　FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451